

2016.2.1 第1169号
ISSN 0913-0217

発行人／長瀬 清
発行所／北海道医師会
〒060-8627
札幌市中央区大通西6丁目
TEL(011)231-1432
FAX(011)221-5070

北海道医報

2016

2
月号



北海道 美の遺産

小谷 博貞

二月・わらう原野

北海道立近代美術館 所蔵

CONTENTS

北海道医報
平成28年2月1日 第1169号

指標／新専門医制度をめぐる道内の最近の動きと新たな日医かかりつけ医
機能研修制度の概要について……………小熊 豊……………3

医の倫理綱領……………7

報告／平成28年北海道医師会新年交礼会を開催……………8

日本医師会綱領……………9

生涯教育シリーズXXI／クローン病の標準的診断と治療……………古川 滋……………10

報告／平成27年度医政講演会……………笹本 洋一……………14

報告／国民医療を守るための国民運動……………三戸 和昭、笹本 洋一……………18

報告／認知症サポート医フォローアップ研修……………林 宏一……………22

最新・医事紛争Q & A／当直医の専門外患者への対応……………黒木 俊郎、加畑裕一……………26

税務相談室／医業の収入金額……………中村 孝一……………28

会員のひろば……………橋野 聡、中村 博彦、中木 良彦、菊池 仁
山内 修、人見会美子、小畑 博敬、中村 公英、山下 利春
水関 清、川崎 和雄、飛世 克之、高塚 紀子、南田 英俊……………30

ポラリスを仰ぐ北の大地から……………吉田 肇、川上 康博……………40

大通公園を望む窓辺から……………目黒 順一、稲葉 秀一……………41

医学会・医学講演会等 開催情報……………44
中央44 道南49 後志50 日胆51 空知52 道北53 北見55 道東55

その他開催情報……………57

日医認定産業医制度研修会開催一覧……………58

日医認定健康スポーツ医制度再研修会開催一覧……………59

訃報……………60

道医の動き……………61

新規指定医療機関……………61

会議室／第19・20回常任理事会、第6回理事会……………62

売貸医院・医師招聘情報……………70

道医師国保の頁……………74

コーヒープレイクMedico's Column……………80

季節風／ストレスチェック制度が始まるー不安の時代の医療ー……………山科 賢児……………82

お知らせ

医療安全情報について⑬／北海道小児救急電話相談事業の相談時間延長について⑳

特定健康診査に関するお知らせ④②／ストレスチェック制度サポートダイヤルおよびQ & A
のご案内⑤⑦／北海道ドクターズゴルフ50周年記念大会開催のお知らせ（予告）⑤⑨

消費税の軽減税率制度の導入について⑥⑩／研修会等への託児サービス併設費用の助成について⑥⑧

日本医師会作成『心肺蘇生法CAB+Dカード』について⑥⑨

「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼について⑦③

ー生命保険「団体扱い」のお奨めー⑦⑤

北海道医師会ホームページの会員優待サービスにmiki HOUSE通販サイトがOPEN！⑦⑨

グループ保険のご案内⑧①

北海道医師会会員数 8,279名 (-17) うち日本医師会会員数 5,866名 (-24)

A	2,482名 (+2)	B2	4,575名 (-19)	C2	149名 (±0)
B1	600名 (±0)	C1	109名 (±0)	C3	364名 (±0)

平成27年12月31日現在 () 内前月比

作品紹介

こたに ひろさだ
小谷 博貞 二月・わらう原野

1915（大正4）年～2002（平成14）年

札幌生まれ。
1992（平成4）年の作品。油彩・キャンバス（193.9×112.1cm）。

札幌第一中学校（現札幌南高等学校）在学中に、三岸好太郎の作品と出会い画家を目指す。

19歳で上京し、多摩帝国美術学校（現多摩美術大学）図案科に学んだ後、東京の映画制作会社で美術映画制作に携わりながら画業を続けた。

北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立近代美術館
（札幌市中央区北1条西17丁目 011-644-6881）

札幌に戻ってからは、道展や主体美術展などに出品し、本道における抽象絵画のバイオニアとして活躍。キュビズムやシュルレアリスムに刺激を受け、前衛的な表現を追求した。

北海道美術ペンクラブ同人として、美術評論にも筆をふるう一方、1967年から札幌大谷短期大学美術科教授に就任。北海道美術界の指導者として大きな役割を果たした。

2014年～2015年には、北海道立近代美術館で『生誕100年記念 小谷博貞 絵画の冒険』が開催されている。

力強い直線、積雪を連想させる曲線が、氷雪の季節を喚起する一方で、瑞々しい色使いや律動は、春の訪れを期待させる。